

日本の伝統美は、機能も十分に伝統として引き継がれる。



デザインを意識しない商品は、

いまやほとんどなくなってしまった。

それほどに、デザイン感覚あふれた

モノが日々生まれ出されている。

が、それらすべてが美しいわけではない。

ここでは、日々生まれ出されるモノの中から、

心に安らぎをもたらしてくれる

美しいモノをセレクトし、

その機能美・様式美を紹介する。

# +Design プラスデザイン

## KOTORI

Design:hiroshi negane (TOKYO DESIGN PARTY)  
Produce:akihiko shimada



右写真のように替せ替え用シェード (¥15,750)  
で各色異なる雰囲気を楽しめる。



吉都里 - KOTORI -  
¥15,750 ←  
●ペーパーライト  
シェード素材: 竹・木・和紙  
直径: 385mm  
色: ナチュラル、赤、黒、紫ほか  
●ほかにて写真のフロアスタンド (¥89,000)  
も各色あり。  
●お問い合わせ: 株式会社日百屋  
TEL: 075-441-6644  
<http://www.wagasa.com/>



日本古来の伝統美は「デザイン」という言葉を意識して作られたものではない。かといって「意匠」という言葉を意識したものでもないだろう。機能を満たし、ただ単に作者が「美しい」と思う感性で最終的にカタチを作る……。それが結果的に他の人々の感性にも合致し、受け入れられることで永遠になる。

和傘は雨に濡れるのを防ぐという基本機能を満たすために作られた。しかし、その意匠は骨組みに至るまで美しい。そして、その延長としてカタチにしたものが「KOTORI 吉都里」である。用途はランプ・シェード。見事に日本の伝統美を活かしたものになっている。が、実用的な機能も引き継がれている。和傘のように開閉可能だから、各色そろえてもコンパクトに収納できるのだ。日本の伝統とは、美しさだけではなく、引き継がれる機能もあることを教えてくれる。